Course number												
title in	外資系投資銀行ビジネス- 理論と実務 Investment Bank:Theories and Business Practices							P. G Sp G	Graduate School of Management Professor, YAMADA TADASHI Graduate School of Management Specially Appointed Professor, SHIKIBU TORU Graduate School of Management Specially Appointed Professor, CHEMINAT, Raphael			
Group Int	oup Interdisciplinary Graduate Courses Field(Classification)			lumanities and Social Sciences			
Language of instruction	Japane	ese			Old g	roup			Number of c	redits	2	
Number of weekly time blocks	1		Class Style			cture face-to-face course)			Year/semesters		2024 • Second semester	
Days and periods Wed.4					t year Graduate stude					For all majors		

(Students of Graduate School of Management cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

[Overview and purpose of the course]

外資系投資銀行が提供する金融サービスについて、その基礎的な経済理論にも触れながら、実務的な業務内容について講述するとともに、その社会的な意義について講義する。また、テクノロジーの進展が加速するなか、金融機関の役割が如何に変化しているか、さらには、金融工学が高度化するなか、世界の金融市場におけるファイナンスやデリバティブの潮流が如何に変容しているかについても論じる。本授業では、金融市場や金融商品、経済分析などの各部門の専門家が解説する。

[Course objectives]

グローバルに展開する投資銀行が果たす役割や実務的内容について理解を深める。

[Course schedule and contents)]

グローバル投資銀行の役割から先端的な金融サービスの潮流まで、幅広い内容を各分野の実務的な専門家が解説し、質疑応答を通じて理解を深める。講義の最後には簡単なテストも行う。 (の授業は英語による講義が含まれます)

- |1 序論1‐グローバル投資銀行の役割
- |2 序論2‐金融市場が経済に与える影響
- 3株式市場ビジネスの実務と潮流
- 4 金融工学 ファイナンスにおける数学
- |5 金融工学 市場における投資商品
- 6 デリバティブにおけるイノベーション
- 7 ヘッジ・ファンドの運用戦略と市場インパクト
- 8 資産運用ビジネスの実務と潮流
- 9 債券市場ビジネスの実務と潮流
- |10 金融機関とデリバティブの関わり
- 11 特別講義 1 金融機関の最近の傾向
- |12 特別講義2-先端的ファイナンスの実例|
- |13 特別講義3-投資銀行と日本経済
- |14 結論:グローバル投資銀行の未来

外資系投資銀行ビジネス- 理論と実務(2)
[Course requirements]
金融商品や金融業界に興味があること。
[Evaluation methods and policy]
テストは各クラスの最後に行う。 評価は、1)出席率、2)ディスカッションへの参加の程度、および、3)テストの総得点に基づいて行う。
[Textbooks]
Not used
[References, etc.]
(References, etc.) Introduced during class
[Study outside of class (preparation and review)]
後続のクラスをよりよく理解するために、各クラスでカバーされているトピックを、その都度復習 すること。
[Other information (office hours, etc.)]
授業の数回を外国人講師が英語で行う予定である。その際、日本語でのサポートを行う。他研究科の学生が履修を希望する場合には,初回講義に必ず出席すること。